

Michiè Nakamaru Soprano Recital

マリア・カラス・コンクールにおいて外国人として初の優勝を飾り、以降、世界のオペラハウスから出演依頼が殺到。ドミンゴやパヴァロッティ等とも共演を果たし、名実共に日本を代表するプリマドンナとして活躍する中丸三千繪が贈るオペラ・アリアの名曲の数々。

中丸三千繪

なかまる みちえ(ソプラノ)

桐朋学園大学音楽科卒業、同大学研究科修了。在学中よりジュリアード音楽院、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。1986年、小澤征爾指揮、R.シュトラウス『エレクトラ』のタイトルロールでデビュー。1987年イタリアに渡り、1988年、第3回「ルチアーノ・パヴァロッティ・コンクール」優勝、ヨーロッパデビューを果たす。第4回『マリア・カニリア・コンクール』優勝、第27回「フランチェスコ・パオロ・ネリア・コンクール」優勝。これを機にミラノ・スカラ座と出演契約を結ぶ。1989年『愛の妙薬』でルチアーノ・パヴァロッティと共演し、アメリカ・デビュー。1990年RAI(イタリア国営放送)主催「マリア・カラス国際音楽コンクール」に優勝し、欧米各国より出演依頼が殺到する。

以来、ミラノ・スカラ座でのムーティ指揮、ワーグナー『パルジファル』など、世界各国の歌劇場でプラシド・ドミンゴ、ホセ・クーラ、ロリン・マゼール、ケント・ナガノをはじめとする当代一流の音楽家と共演。1994年にはベルサイユ宮殿での英仏チャリティ親善コンサートに、故ダイアナ妃臨席の下、フランス代表として出演。1995年、MODA(イタリア貿易振興会)Made in Italy賞を受賞。1997年、歌舞伎座にて史上初めてとなるソロ・リサイタルを行い、大きな話題となった。

東芝EMI(現EMI Music Japan)より20タイトルのCDをリリース。ホセ・クーラ、ダニエラ・デッシーらとローマ国立歌劇場のマスカーニ『イリス』、ベルリンフィル12人のチェリストとの録音にも参加。また、著書「マリア・カラス・コンクール スカラ座への道」、エッセイ集「声のある時間」を出版。

1998年より、日本各地で小児がんの子どもを支援するチャリティコンサートを行っており、天皇皇后両陛下ご臨席のチャリティコンサートにも出演するなど、社会活動においても高い評価を受けている。



日本国内においてもリサイタル・ツアーの他、フィルハーモニア管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団、スロヴァキア国立放送交響楽団などの日本公演にソリストとして出演。2001年にはポーランド国立歌劇場日本公演『椿姫』ヴィオレッタ役で出演、絶賛を受ける。

またメジャーリーグ開幕戦開会式、サンフランシスコ講和条約締結50周年記念式典(於ワシントン)などの国際的イベントにおいて日米両国歌を斉唱。

近年ではリサイタルの他、モノオペラ『悲嘆 Grief』(三枝成彰作曲/サー・アーノルド・ウェスカー演出)世界初演、グランシップ開館10周年記念事業『椿姫』(鈴木忠志演出)に“ヴィオレッタ”役で出演する等、日本におけるオペラ活動にも積極的に取り組んでいる。

2006年、イタリア文化の貢献が評価され、“イタリア連帯

の星勲章” コメンダトーレ章(Commendatore dell'Ordine della Stella della Solidarieta Italiana)をイタリア大統領より授与された。2007年、パリ、モナコ(モンテカルロ劇場)でリサイタル、2009年、パリ、ボルドー等のオペラハウスに出演。2010年、「2010年トルコにおける日本年」日本トルコ友好祝賀記念式典出演。(於トルコ・イスタンブール)、ビルケント交響楽団(トルコ・アンカラ)に招聘されリサイタルを開催、ミラノの大聖堂、ローマのバチカン等でコンサートを開催。2011年、三枝成彰作曲「悲嘆」、プーランク作曲・ジャン・コクトー原作「人間の声」と一晩で二つのモノオペラ(奥田瑛二・演出)を一人で演じ、3夜にわたりTV放送された。

日伊文化交流委員会組織委員、桐朋学園大学特任教授、梅光学院客員教授。



AIR-G (FM北海道) のクラシック音楽入門ラジオ番組
「朝クラ!」
〈毎週日曜日あさ6:00~6:55放送〉
DJ: 高山秀毅 HIDEKI TAKAYAMA
[mail] asakura@air-g.co.jp